



NO.1254

2月9日号

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
電話三二四四八
F 四三二四四七七



学校給食の民間委託に疑問の声

2月5日、学校給食調理業務の民間委託について文教



委員会は、委員会は、お母さんやお父さんなど15名の市民が傍聴にきていました。市教育委員会はパートの給食調理員の退職が相次ぎ、募集しても集まらない。給食の安定供給のために小規模校の調理室をなくし、調理業務を委託すると説明しました。

と質問。教育部長はH27年から調理員の退職がつづき、平成29年から検討していたと答弁しました。もっと早くから議員や市民に説明する時間はあったのです。

金兵議員は、呼人小中学校などへの配送方法や配送時間を質問。市は、11時10分に潮見小を出発し、呼人小中へ配送し、35分に呼人を出発、55分に南小に到着、南小で給食を積んで3中へ運ぶと回答。配送方法に傍聴者から驚きの声が上がっていました。

「行革」に無い民営化

平賀議員は、行革にもない給食民営化が突然出されることは問題だと指摘。副市長は給食について明確な方向が定まっていなかったため行革に入れていなかったと答弁がありました。

近藤議員は、市民は計画通りできるのか心配している。質と安全を担保するといふのであれば、市民がなるほどと納得のいくような合理性と具体性が必要だ。さらに市民に説明をすべきと話していました。

署名にご協力を

民間委託をやめさせようと「子どもたちに豊かな給食を届ける会」が発足しました。「網走市の学校給食の民間委託の中止と安心安全な給食の維持を求め署名」を作成し、署名を集めています。周りの方に声をかけるなど、読者の皆さんのご協力を、お願いいたします。

新春のつどい開かれる

2月2日(日)の午後、日本共産党と後援会主催の『新春のつどい』がエコーセンターで開かれました。

開会にあたり松浦敏司市委員長は昨年の網走市議会選挙で2議席を実現できたことに、後援会員へお礼を述べるとともに、今年行われる衆議院選挙で国民に野党連合政権の希望を語り勝利すると挨拶がありました。

村椿敏章議員は、「市教育委員会の突然の学校給食調理業務の民間委託計画は議会軽視、市民軽視

だ。保護者から中止させての声がある。運動を大きくしたい。ご協力を」と訴えていました。

平和の願いを網走からの呼びかけ人である川原田英世さんは「カジノ疑惑、桜を見る会、公文書改ざん、中東派兵など、どれも許せない。安倍政治をやめさせるため、一緒に手をつなぎましょう。金曜集会にも参加を」と訴えていました。

乾杯で始まった宴会はピアノ演奏で和やかな雰囲気にも包まれ、民舞「津軽 アイヤ節」や力強い和太鼓の音が響き、参加者に勇気をくれました。「うたう会」による声だし運動の後、「北国の春」「ソーラン節」で体が温まり、踊りを加えた「パプリカ」で会場は一体となりました。

「衆議院選での勝利を」と参加者92名が固く誓いあつて終了しました。「つどい」には、「ストップ戦争法網走の会」の山本代表からメッセージが寄せられ紹介されました。



パプリカを踊る参加者の皆さん



津軽アイヤ節の踊り

流氷

インターネットで日本のニュースを見ている。連日コロナウイルス肺炎の報道ばかり。カンの報道ばかり。カンの報道ばかり。カンの報道ばかり。

日目の早朝に大雨が降りました。カンボジアは今、乾季。プノンペン市は、ホコリでオートバイを運転する8割の人が、マスクを着用。雨のおかげでホコリは押さえられたのも一時的で朝の出勤のオートバイ、自動車等の大渋滞で、元の木阿弥。▼この国は、自動車が強者で、歩行者は弱者。先日歩道のない道路の右側を歩いていたら、車の右側のバックミラーに左腕がぶつかった！車は走り去った。スピードが出ていなかったのが大事に至らなかったが、地元の日本人に『気を付けなさい。轢かれ損だよ』と言われた。交通信号は少なく、横断歩道もない。道路を横断するのは大変(本当に命がけ)地元の人々の横について一緒に渡る様になっている。プノンペン市の各地区に市場があり、早朝から新鮮な野菜、果物、肉、魚、生活用品等、所狭しと並び、買い物客で身動きできない程の賑わい、活気がある。マンゴーの木が街路樹として植えられ、枝もたわわに青いマンゴーが実を付けている。

ーアスリート爺ー